

小嶋・伊藤組初V

高木・水野組を破る

秋季大会1部

雨で延期された秋季大会は10月25日(日)午前9時から市民公園で開催。参加は、男子1部23組(WO7)、男子2部36組(WO6)、女子1部17組(WO7)、女子2部17組(WO3)の計93ペア。

男子1部はハイレベルの激闘。準決勝は水野・高木亘組-小出・井林組、小嶋・伊藤組-山本・伏見組の好カード。水野・高木が7-5の辛勝。小嶋・伊藤組は6-0の快勝で勝ち上がる。決勝は小嶋・伊藤組が6-4で競り勝って初出場での優勝。3決はタイブレークで小出・井

高木亘 4冠あと半歩

林組が辛勝した。2年連続6度目Vを目指した八百山・富士組(ヤオフジ)は初戦で水野・高木組に完敗。勝者・高木は史上4人目の「瀬戸グランドスラム」(4大会全制覇)をかけて、おしの水野と組んで決勝進出したが、惜しくも敗れ、GS(4冠)はお預け。

女子1部も激戦。柴山・中野組-河合・寺田組の決勝は、柴山・中野(チークミ)が息の合ったプレーで快勝。2010年以来5年ぶり2度目の優勝。(2・3面へつづく)

女子は柴山・中野組

河合・寺田組下し2度目V

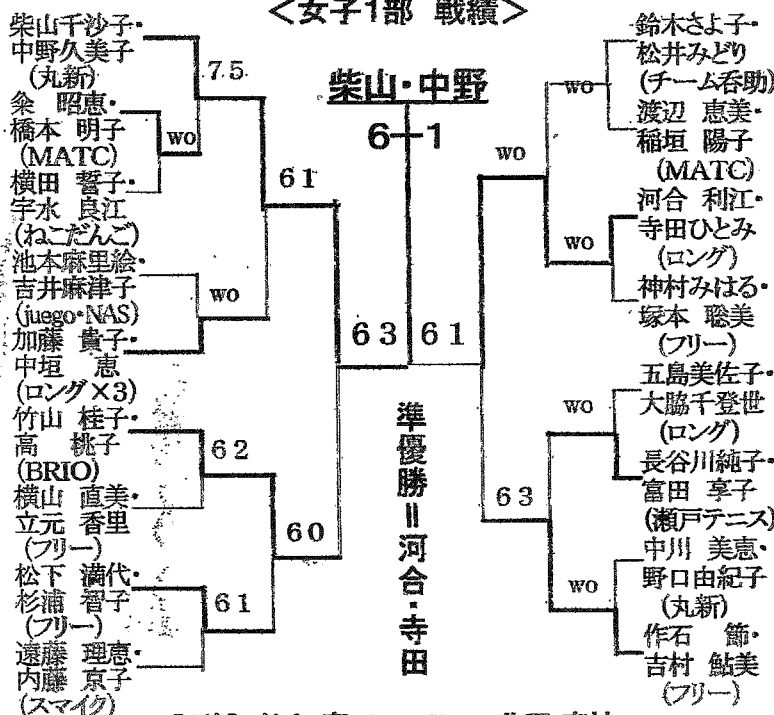
男子1部初出場での優勝した小嶋・伊藤組



女子1部5年ぶり優勝の柴山・中野組



<女子1部 戦績>



[秋季大会成績]

- <男子1部>
 優勝=小嶋将斗・伊藤貴彦組(アンフィニ瀬戸)
 準優勝=水野 斉・高木亘紀組(協会)
 第3位=小出真弘・井林知之組(Juego)
 山本尚史・伏見祐哉組(ストロベリーF)
- <男子2部>
 優勝=稲垣 聡・寺島純一組(フリー)
 準優勝=鈴木克史・岩垣俊男組(T-B)
 第3位=岩井裕明・佐久間浩和組(アルパトロス)
 坪田義正・根岸洋平組(BRIO)
- <女子1部>
 優勝=柴山千沙子・中野久美子組(丸新)
 準優勝=河合利江・寺田ひとみ組(ロング・ロング・ロング)
 第3位=竹山桂子・高 桃子組(BRIO)
 作石 節・吉村鮎美組(フリー)
- <女子2部>
 優勝=志水綾子・西部(にしぶ)淑子組(フリー)
 準優勝=藤垣朱美・浜本寛洋子組(フリー)
 第3位=伊藤弓子・鈴木洋美組(ねこだんご)
 春田巳恵・町田ひさ子組(Kクラブ)



男子1部準優勝の水野・高木組(左)、3位の
小出・井林組(右)と山本・伏見組(中)



女子1部準優勝の
河合・寺田組

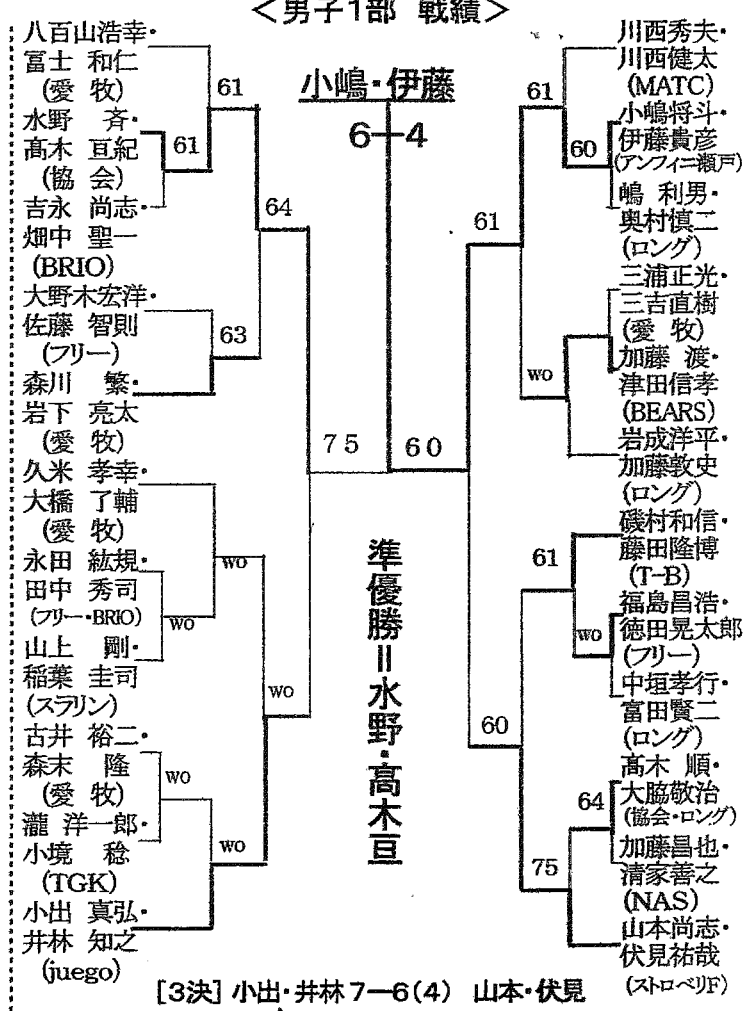


女子1部3位の
竹山・高倉組

[秋季大会1部 近年の優勝ペア]

[年]	[男子]	[女子]
07	竹元康明・鈴木猛史	高木淳子・松原由布子
08	八百山浩幸・富士和仁	高木淳子・松原由布子
09	八百山浩幸・富士和仁	松山 恵・柴山千沙子
10	富田一行・福山剛章	山田久美子・柴山千沙子
11	八百山浩幸・富士和仁	小友崎さくら・川口 綾
12	八喜多真一郎・野中 裕	吉村鮎美・作石 節
13	森田将文・村松祐次	小境陽子・梅村奈美子
14	八百山浩幸・富士和仁	小境陽子・古橋葉月
15	小嶋将斗・伊藤貴彦	柴山千沙子・中野久美子

男子2部
稲垣 聡・寺島組2部卒業



女子2部
志水・西部 V
藤垣・浜本組も1部昇格



男子2部は壮年エントリーの2組を加え36ペア(WO6組)の混戦。準決勝は、岩井・佐久間組・稲垣・寺島組の対戦。稲垣・寺島組と鈴木・岩垣組がともに快勝して決勝対決。決勝は稲垣・寺島組が6-4で押し切つて2部卒業の優勝。鈴木・岩垣組も1部昇格した。

3決は岩井・佐久間組が6-3で制した。

◆準優勝 鈴木の話「これまでようやく2部残留してしまいましたが、今回は「寸止め」失敗。これからいろいろ学びたい」

女子2部は17ペア(WO3組)が熱戦。藤垣・浜本組と

鈴木克・岩垣組も



男子2部優勝の稲垣・寺島組(前右)、準優勝の鈴木・岩垣組(前左)、3位の岩井・佐久間組(後左)と坪田・根岸組(後右)

志水・西部組との決勝は志水・西部組が6-2で勝つて優勝。決勝争つた2ペアは1部へ昇格。

3決は伊藤・鈴木が完勝。

◆3年間は2部出場タメ男女とも2部決勝進出の2ペアは1部へ昇格する。パートナーを替えても3年間は2部への出場はできない。但し、この規則は60歳以上の者には適用しない。

「男子」優勝 小嶋将斗・伊藤貴彦
準優勝 水野 斉・高木 亘紀
3位 小出 真弘・井林 知之
4位 岩井 隆太・佐久間 隆太
5位 坪田 根岸組
6位 藤垣 聡・寺島 隆志

今年の練習会は10月24日(土)終了。来4月再開です。

最多は田中和彦さん22回

4月から10月まで月4回の練習会に最も多く参加したのは田中和彦さん22回。加藤隆久さん20回、柴田高良さん19回、加藤義孝さん18回、高木正則さん17回の順。10回以上が13人。瀬戸西高の2女生徒も頑張った。

行事日程

★第5回 高校学年別大会

10月31日(土)、11月3日(火)午前7時～午後5時。市民公園。瀬戸近郊高校生。男女学年別単・複。参加費=1人800円。予備日=11月7日(土)

★壮年・レディース大会

11月29日(日)午前9時～午後5時(コートは7時から使用可)。市民公園A。市内在住在勤者または協会員で45歳以上の男子複、40歳以上の女子複。参加費=1組1,200円(協会員無料)。受付=10月15日～11月11日。予備日=12月20日(日)

★協会創立記念大会&総会

12月6日(日)午前9時～午後5時。市民公園A。親睦ダブルス。11時～13時は体育館で総会。はがきで案内。雨天時は総会のみ。昼食付き。※総会で次年度会費を徴収します。3000円ご用意下さい(会計から)。

★協会理事会&親睦大会

16年2月14日(日)午前11時～午後1時。午後1時～5時・市民公園で親睦大会。雨天時は理事会のみ。

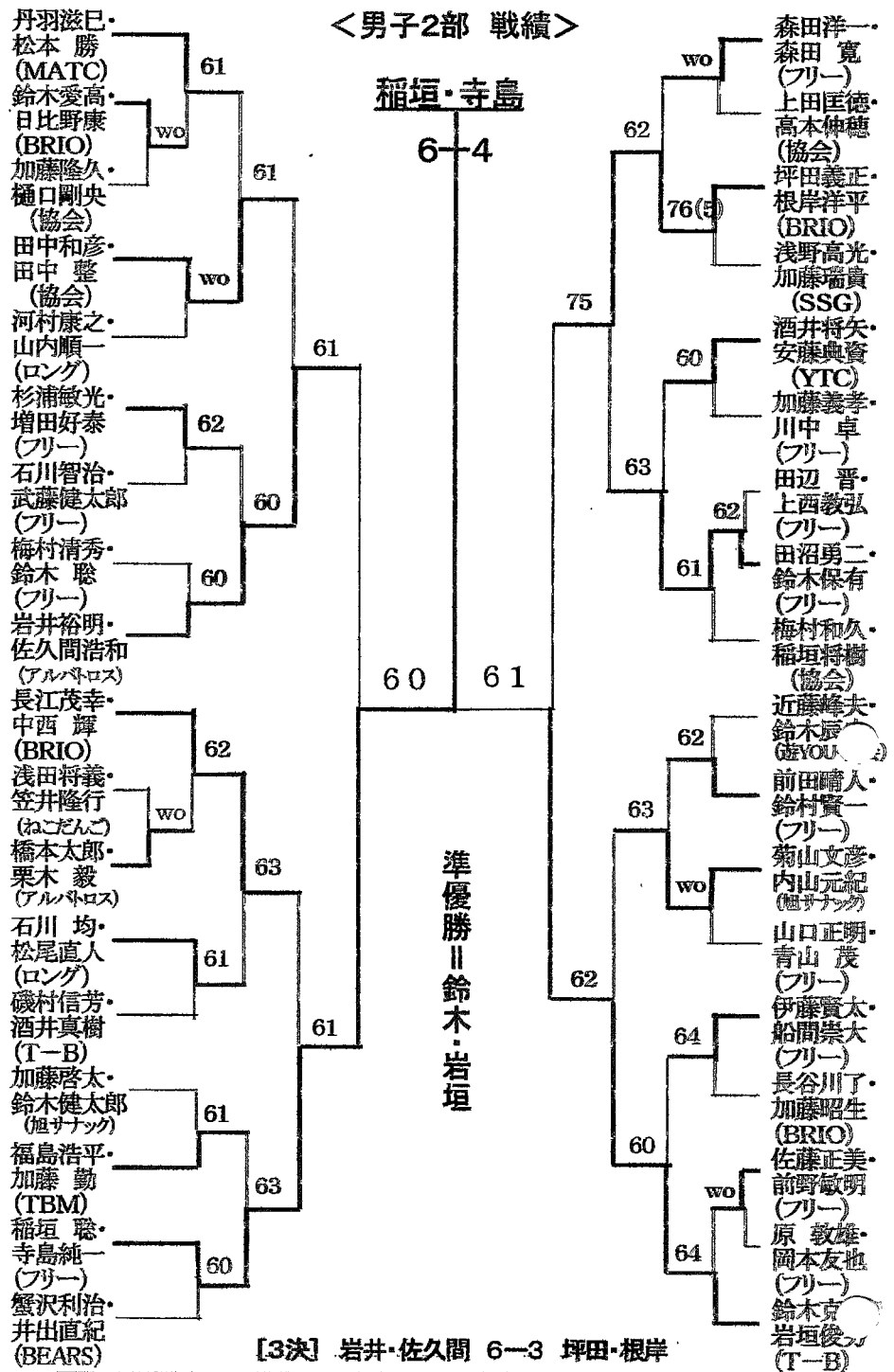
★16年・春季テニス教室

16年3月6日、13日、20日の日曜3回。午前9～午後1時。市民公園A。市内在住在勤在学者または協会員。先着60人。参加費=1人4500円。受付=2月1日～24日。予備日=3月27日(日)

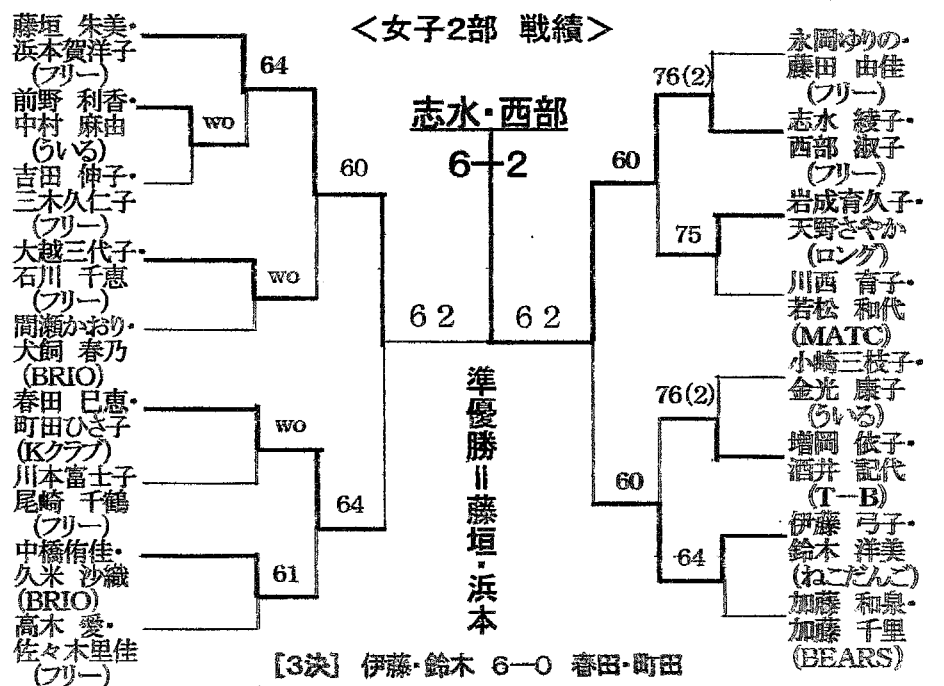
★第31回 瀬戸地方高校生大会

16年3月23日(水)、24日(木)。午前7時～午後5時。市民公園A・B。瀬戸近郊高校生。単2・複1の団体戦。参加費=1チーム3,000円。予備日=3月25日(金)。学校関係者に案内

<男子2部 戦績>



<女子2部 戦績>



[3決] 伊藤・鈴木 6-0 春田・町田

口・殷組優勝



- 《成績》
- <1位グループトーナメント>
 優勝=山口嘉裕・殷耀展組 (西山)
 準優勝=杉浦・学・中島 殷組 (フリー)
 第3位=早坂真弓・高木亘紀組 (テニス協会)
 増田好泰・福島浩平組 (フリー)
- ◆3位・早坂の話=「よう頑張ったでしよう、この年齢で、老人力だね。孫のような亘紀君に感謝。賞品までもらっちゃって。写真撮って!」
- <2位グループトーナメント>
 ①=金川誠二・安藤福泰組 (BRT0)
 ②=遠藤昌明・広瀬里美組 (ねこだんご)
 ③=嶋 利男・伊藤奈穂組 (ロング・ロング・ロング)
 奥村慎二・小川由香子組 (ロング・ロング・ロング)
- <3・4位グループトーナメント>
 ①=大脇敬治・高木 順組 (ロング・ロング・ロング、協会)
 ②=笠井隆行・大久保直美組 (ねこだんご)
 ③=藤田隆博・藤田由佳組 (フリー)
 前野敏明・前野利香組 (3いる)

優勝した山口嘉裕・殷耀展組(前)、準優勝の杉浦学・中島殷組(後左)、3位決定戦に勝った早坂真弓・高木亘紀組(後右)

杉浦・中島組が準優勝



2位GT決勝を争った金川(右端)・安藤(中右)組と、遠藤(左端)・広瀬(左中)組。結果は金川・遠藤の6-1 (安藤は09年の覇者、金川は11年の覇者)

男・女・混合 38歳ペア熱戦
 第10回「100歳ダブルス大会」は9月19日(土)、市民公園Aで開催。予選リーグ40組・出場38組。当日抽選で3ペアと4ペアの予選リーグペア分け。各ペア2戦のリーグ戦の後、順位別トーナメントを行った。1位グループトーナメント(GT)決勝は山口嘉裕・殷耀展(ひん・ようしん)組(西山)が杉浦学・中島殷組(フリー)を下して優勝した。(午後4時終了)

3位 早坂・高木 増田・福島
 予選1位を逃し、2位GT以下に回る強豪が続出。女性の松下・杉浦組と吉田・三木組が1位突破。シブロッグ女復の加藤・加藤組が男復

の増田・福島(13年覇者)組を4-1で倒す大金星。1位GTは、準決勝で早坂・高木組を下した山口・殷組と、増田・福島組に快勝した杉浦・中島組の対決。山口・殷組が6-3で制し優勝。3決は早坂・高木組の6-1。3木組は無念の初戦敗退。女復の松下・杉浦組、吉田・三木組は無念の初戦敗退。

2位GTは 金川・安藤
 2位GT決勝は男復の金川・安藤組が男復の遠藤・広瀬組を6-1で圧倒して優勝。金川の話「2位GTは勝つたけど...。予選1位にならないと、どう頑張っても真の優勝はないもんね。予選で女ペアに競り負けて年齢勝負に持ち込まれたのが致命傷になりました」

賞 K:『たまにはタイトルくれよ』 J:『ダメは、ダメダメ』(瀧本勝成さん作)

◆100歳ダブルス
 『グランドシニア大会』を発展的解消し2006年創設。女子ペア計80歳、混合ペア計90歳、男子ペア計100歳以上の年齢ハンディのダブルス大会。年齢は当年末現在。初代覇者は横山・高木の混合ペア。人気大会になり出場多数。予選リーグ後、順位別トーナメント。優勝ペアは以降同一パートナーでは出場不可。勝敗が並んだ場合、得失G差に優先して「高齢勝ち」を適用する。

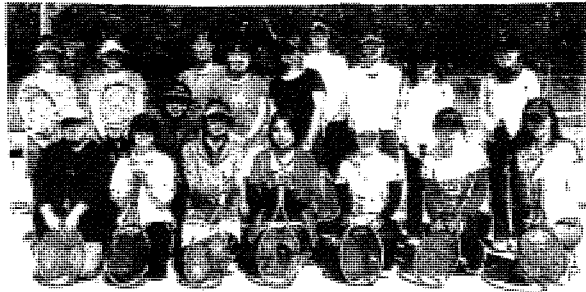
無念集団3、4位GTを制したのはV候補の一角と目された高木順・大脇組。予選のシブロッグから立ち直り、実力の一端を見せて何とかな目を保った。

残念組3位GT
高木・大脇V

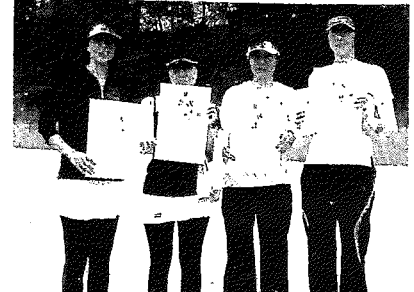
3位GTを制した高木②・大脇③組

[100歳複 歴代の優勝ペア]

第1回	06年	横山真和・高木淳子
第2回	07年	高木 順・長沢裕二
第3回	08年	高木 順・水野 斉
第4回	09年	長江茂幸・安藤福泰
第5回	10年	横山真和・原田吉隆
第6回	11年	近藤峰夫・金川誠二
第7回	12年	横山高雄・富士和仁
第8回	13年	加藤 勤・福島浩平
第9回	14年	高木 順・近藤峰夫
第10回	15年	山口嘉裕・殷 耀展



熱戦を展開した9組(Aブロック4組・前と、Bブロック5組・後)



優勝した大島(中右)・町田(右端)組と準優勝の大越(左端)・石川(中左)組

大越・石川が準優勝

大島・町田組 歓喜のV

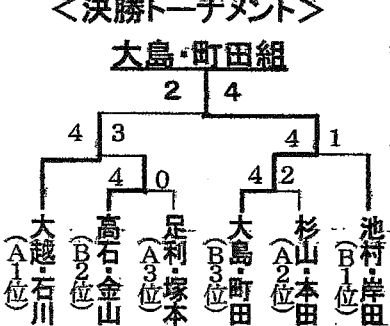
レディーススピギナー大会

後、勝ち点上位各3組による4ゲーム先取ノードの決勝

「女子スピギナー大会成績」
 優勝 大島幸子・町田ひさ子組(テニス協会)
 準優勝 大越三子・石川千恵組(テニス協会)
 第3位 池村征恵・岸田和代組(テニス協会)
 第4位 高石美咲・金山裕美組(テニス協会)

「第9回レディーススピギナー大会」は9月30日(水)市民公園Aで実施。初心・初級女性のダブルス。出場9ペア。2ブロックに分け、4ゲームマッチ・ノードの1次リーグの

Aブロック	勝敗	勝点	勝ち点
杉山 瞳・本田京子	2-1-0	6	6
足利美恵子・塚本由香里	1-2-0	3	3
藤本智子・鈴木真理乃	0-3-0	0	0
大越三子・石川千恵	3-0-0	9	9
Bブロック	勝敗	勝点	勝ち点
高石美咲・金山裕美	1-1-2	5+0	5+0
池村征恵・岸田和代	4-0-0	12	12
横山優子・鈴木悦子	0-3-1	1	1
大島幸子・町田ひさ子	1-1-2	5-1	5-1
伊藤弓子・西尾祐子	1-2-1	4	4



トーナメント。敗退3組は「残念」リーグタイプで決勝2戦。決勝はBブロック3位から勝ち上がった大島・町田組がAブロック1位の大越・石川組を倒して歓喜の優勝。3決は池

「レディーススピギナー大会歴代優勝ペア」

第1回	2007年	三浦牧子・花本葉子組
第2回	2008年	松垣利恵子・東 静香組
第3回	2009年	荒川由香里・手嶋敦子組
第4回	2010年	荒川由香里・伊東陽子組
第5回	2011年	西 美子・片岡里佳組
第6回	2012年	<流れ>
第7回	2013年	松永亜紀・鈴木悦子組
第8回	2014年	<流れ>
第9回	2015年	大島幸子・町田ひさ子組

◆村・岸田が4-1で制した。大島・町田組の話し「優勝うれし！賞状、ちゃんと読んで下さい。会報にカラ写真で載る？白黒かあ」

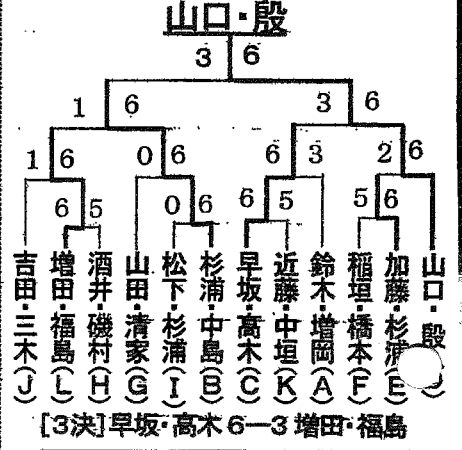
<予選リーグ戦績>

- | 成績 | 順位 |
|-----------------|--------|
| [Aブロック] | |
| 加藤昭生・浜本賀洋子 | 0勝2敗 ③ |
| (混 フリー) | |
| 浅田将義・北沢邦男 | 1勝1敗 ② |
| (男 ねこだんご) | |
| 鈴木克史・増岡依子 | 2勝0敗 ① |
| (混 T-B) | |
| [Bブロック] | |
| 杉浦学・中島徹 | 2勝0敗 ① |
| (男 フリー) | |
| 山崎正史・柴山千沙子 | 1勝1敗 ② |
| (混 丸新) | |
| 長谷川了・中西輝 | 0勝2敗 ③ |
| (男 BRIO) | |
| [Cブロック] | |
| 松本勝・稲垣陽子 | 0勝2敗 ③ |
| (混 MATC) | |
| 早坂真弓・高木亘紀 | 2勝0敗 ① |
| (混 協会) | |
| 大久保洋平・伊藤弓子 | 1勝1敗 ② |
| (混 ねこだんご) | |
| [Dブロック] | |
| 鳥羽まゆみ・木戸口江美 | 1勝1敗 ② |
| (女 フリー) | |
| 柴田高良・伊藤佐知 | 0勝2敗 ③ |
| (混 フリー) | |
| 山口嘉裕・股福展 | 2勝0敗 ① |
| (男 西山) | |
| [Eブロック] | |
| 加藤孝平・杉浦敏光 | 2勝0敗 ① |
| (男 みらく) | |
| 高木正則・田中和彦 | 1勝1敗 ② |
| (男 協会) | |
| 平田直・田辺晋 | 0勝2敗 ③ |
| (男 フリー) | |
| [Fブロック] | |
| 嶋利男・伊藤奈穂 | 1勝1敗 ② |
| (混 ロング・ロング・ロング) | |
| 藤田隆博・藤田由佳 | 0勝2敗 ③ |
| (混 フリー) | |
| 稲垣将樹・橋本明子 | 2勝0敗 ① |
| (混 MATC) | |
| [Gブロック] | |
| 前野敏明・前野利香 | 0勝2敗 ③ |
| (混 りん) | |
| 奥村慎二・小川由香子 | 1勝1敗 ② |
| (混 ロング・ロング・ロング) | |
| 山田賢蔵・清家善之 | 2勝0敗 ① |
| (男 旭サナック) | |
| [Hブロック] | |
| 石川 均・岡 隆司 | 1勝1敗 ② |
| (男 ロング・ロング・ロング) | |
| 森田洋一・加藤 勤 | 0勝2敗 ④ |
| (男 フリー・TBM) | |
| 酒井真樹・磯村信芳 | 2勝0敗 ① |
| (男 T-B) | |
| 都築裕伸・中野久美子 | 1勝1敗 ③ |
| (混 丸新) | |
| [Iブロック] | |
| 金川誠二・安藤福泰 | 1勝1敗 ② |
| (男 BRIO) | |
| 松下満代・杉浦智子 | 1勝1敗 ① |
| (女 みらく) | |
| 岩井裕明・橋本太郎 | 1勝1敗 ③ |
| (男 アルパトロス) | |
| [Jブロック] | |
| 水谷千津留・酒井記代 | 0勝2敗 ③ |
| (女 フリー) | |
| 高木保幸・高木佐年 | 1勝1敗 ② |
| (男 フリー) | |
| 吉田伸子・三木久仁子 | 2勝0敗 ① |
| (女 協会) | |
| [Kブロック] | |
| 近藤峰夫・中垣孝行 | 2勝0敗 ① |
| (男 協会・ロング) | |
| 高木 順・大脇敬治 | 1勝1敗 ③ |
| (男 ロング・協会) | |
| 尾崎直弘・尾崎千鶴 | 0勝2敗 ④ |
| (混 フリー) | |
| 遠藤昌明・広瀬里美 | 1勝1敗 ② |
| (混 ねこだんご) | |
| [Lブロック] | |
| 加藤和泉・加千里 | 1勝1敗 ② |
| (女 BEARS) | |
| 増田好泰・福島浩平 | 1勝1敗 ① |
| (男 フリー) | |
| 笠井隆行・大久保直美 | 1勝1敗 ③ |
| (混 ねこだんご) | |

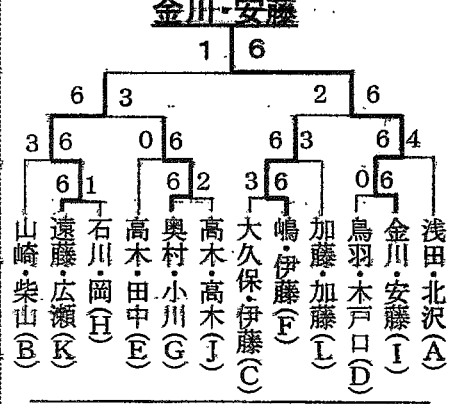


ノード。予選リーグは4ゲーム先取で各2戦。同勝敗の場合、①高年齢 ②得失ゲーム差の順で順位決定。決勝トーナメントは6ゲーム先取

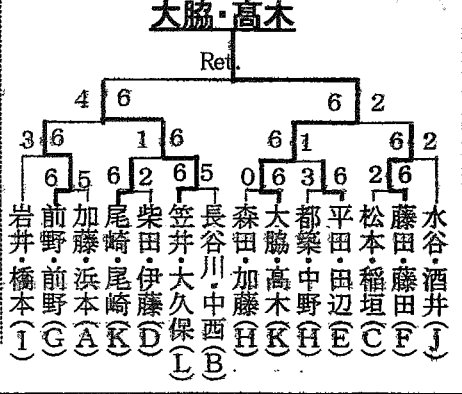
<1位グループT 戦績>



<2位GT戦績>



<3・4位GT戦績>



『吹き出しコンペ』 ◆ウイナー

K「僕は「K」でなく「J」の頭文字、実は「D」だよ」

Yes®=Novak Djokovic

今年の練習会は10月24日(土)終了。来4月再開です。

最多は田中和彦さん22回

4月から10月まで月4回の練習会に最も多く参加したのは田中和彦さん22回。加藤隆久さん20回、柴田高良さん19回、加藤義孝さん18回、高木正則さん17回の順。10回以上が13人。瀬戸西高の2女生徒も頑張った。

行事日程

★第5回 高校学年別大会

10月31日(土)、11月3日(火)午前7時～午後5時。市民公園。瀬戸近郊高校生。男女学年別単・複。参加費=1人800円。予備日=11月7日(土)

★壮年・レディース大会

11月29日(日)午前9時～午後5時(コートは7時から使用可)。市民公園A。市内在住在勤者または協会員で45歳以上の男子複、40歳以上の女子複。参加費=1組1,200円(協会員無料)。受付=10月15日～11月11日。予備日=12月20日(日)

★協会創立記念大会&総会

12月6日(日)午前9時～午後5時。市民公園A。親睦ダブルス。11時～13時は体育館で総会。はがきで案内。雨天時は総会のみ。昼食付き。※総会で次年度会費を徴収します。3000円ご用意下さい(会計から)。

★協会理事会&親睦大会

16年2月14日(日)午前11時～午後1時。午後1時～5時・市民公園で親睦大会。雨天時は理事会のみ。

★16年・春季テニス教室

16年3月6日、13日、20日の日曜3回。午前9～午後1時。市民公園A。市内在住在勤在学者または協会員。先着60人。参加費=1人4500円。受付=2月1日～24日。予備日=3月27日(日)

★第31回 瀬戸地方高校生大会

16年3月23日(水)、24日(木)。午前7時～午後5時。市民公園A・B。瀬戸近郊高校生。単・複1の団体戦。参加費=1チーム3,000円。予備日=3月25日(金)。学校関係者に案内

丹羽滋巳・松本勝 (MATC) 61
鈴木愛高・日比野康 (BRIO) wo
加藤隆久・樋口剛央 (協会) 61
田中和彦・田中整 (協会) wo
河村康之・山内順一 (ロング) 61
杉浦敏光・増田好泰 (フリー) 62
石川智治・武藤健太郎 (フリー) 60
梅村清秀・鈴木聡 (フリー) 60
岩井裕明・佐久間浩和 (アルパロス) 60
長江茂幸・中西輝 (BRIO) 62
浅田将義・笠井隆行 (ねこだんご) wo
橋本太郎・栗木毅 (アルパロス) 63
石川均・松尾直人 (ロング) 61
磯村信芳・酒井真樹 (T-B) 61
加藤啓太・鈴木健太郎 (旭サナック) 61
福島浩平・加藤勤 (TBM) 63
稲垣聡・寺島純一 (フリー) 60
蟹沢利治・井出直紀 (BEARS)

<男子2部 戦績>

稲垣・寺島

6-4

準優勝 || 鈴木・岩垣

[3決] 岩井・佐久間 6-3 坪田・根岸

森田洋一・森田寛 (フリー) wo
上田匡徳・高本伸徳 (協会) 62
坪田義正・根岸洋平 (BRIO) 76(3)
浅野高光・加藤瑞貴 (SSG) 75
酒井将矢・安藤典資 (YTC) 60
加藤義孝・川中卓 (フリー) 63
田辺晋・上西教弘 (フリー) 62
田沼勇二・鈴木保有 (フリー) 61
梅村和久・稲垣将樹 (協会) 60
近藤峰夫・鈴木辰 (BEYOU) 62
前田晴人・鈴木賢一 (フリー) 63
菊山文彦・内山文紀 (旭サナック) wo
山口正明・青山茂 (フリー) 62
伊藤賢太・船間崇大 (フリー) 64
長谷川了・加藤昭生 (BRIO) 60
佐藤正美・前野敏明 (フリー) wo
原教雄・岡本友也 (フリー) 64
鈴木克・岩垣俊 (T-B)

藤垣朱美・浜本賀洋子 (フリー) 64
前野利香・中村麻由 (フリー) wo
吉田伸子・三木久仁子 (フリー) 60
大越三代子・石川千恵 (フリー) wo
間瀬かおり・大飼春乃 (BRIO) 62
春田巳恵・町田ひさ子 (Kクラブ) wo
川本富士子・尾崎千鶴 (フリー) 64
中橋侑佳・久米沙織 (BRIO) 61
高木愛・佐々木里佳 (フリー)

<女子2部 戦績>

志水・西部

6-2

準優勝 || 藤垣・浜本

[3決] 伊藤・鈴木 6-0 春田・町田

永岡ゆりの・藤田由佳 (フリー) 76(2)
志水綾子・西部淑子 (フリー) 75
岩成育久子・天野さやか (ロング) 60
川西育子・若松和代 (MATC) 62
小崎三枝子・金光康子 (いる) 76(2)
増岡依子・酒井記代 (T-B) 60
伊藤弓子・鈴木洋美 (ねこだんご) 64
加藤和泉・加藤千里 (BEARS)



◆錦織の話＝『バックが多彩なやりにくい相手だ。第2セットの逸機が悔やまれる。攻め切れなかった。テリッチ戦やこの第1セットなどテニス自体はよくなっている』
 ◆バブリンカの話＝『ペーアは親友。いつか2人で決勝を、という夢が実現した。技を封じる強い球を打った。昨年の全豪優勝で自信がついた。僕はもっとやれる』

＜準々決勝以降＞

①バブリンカ	20	20	6-2	6-4
グライチェク	20			
③シモン	21	21	1-6	6-2
ミュラー	21			
⑥ペーア	21	1-6	6-2	6-2
キリオス	21			
②錦織 主	21			

バブリンカ

初戦、第4シード・ガスケ、第5シード・アンダーソン、第8シード・ディミトロフが敗れる波乱。世界6位第2シードの錦織は初戦38位・テリッチを

ジャパン・オープン

錦織 連覇逃す

準決勝ペーアに苦杯 バブリンカ初V

男子の「ジャパン・オープン」(東京有明)10月1日まで)単は、2年連続3度目の優勝をめざした錦織圭(日清食品)が準決勝敗退。第1シードのバブリンカ(スイス)が初優勝。

決勝はバブリンカがペーアに6-1、6-4で快勝。バブリンカは今季4勝目、通算11勝目で賞金約3670万円を獲得。



2回戦、バブリンカに善戦した伊藤

伊藤 昨年再現ならず

127位伊藤竜馬(北日本物産)は西岡良仁(ヨネックス)に3-6、6-0、7-5の逆転で2回戦へ進んだがバブリンカに3-6、6-1、2、4-6で惜敗。昨年の再現ならず。しかし、ランクの差を感じさせない粘りを見せた。「去年は相手にデータがなかったから、今回が本当の勝負。あそこまで行ったら勝ちだった」と悔しそう。内山靖崇(北日本物産)は初戦でベセリー(チェコ)に4-6、4-6で敗れた。

◆ニック・キリオス(8強入り)した豪の20歳。2020キを越す強サーバー。好選手だが「マナー最悪の所謂「ワルガキ」」

複はメロ組が初優勝

複は内山クライイチチ組が初戦敗退。メロ(ラジナル・クラセン(南))組がカバル・フアラのコンビで初優勝。

マスターズ上海

錦織8強ならず

アンダーソンに惜敗

マスターズ上海(10月18日まで)、錦織は2回戦でキリオス(豪)に1-6、6-1、4、6-1の逆転勝ち。8強入りをかけた3回戦で、トンプソン入りした第12シード・アンダーソン(南)に6-7、6-1、7で惜しくも敗退した。

勝負強さが影を潜めた。過去2戦2勝の相手に初黒星。第1セットのタイブレーで4度のセットポイントを逃す。第2セットのタイブレーはいきなり0-5と離され、2本のリターンを決めたが、時すでに遅かった。テリッチがツォンガを6-1、2、6-4で下し今季9勝目。



タイブレーを連続で落として敗れた錦織

◆錦織「相手は以前より腕を上げていた。第1セットは思い切りが足りなかった。悔しいが、考え過ぎないようにする。疲れはあるがあと1か月、切り替えてやるだけ」

「スイス室内」は欠場。11月の「マスターズ・パリ」に挑む。

奈良、2回戦敗退

女子の香港オープン単2回戦(10月15日)で奈良くるみは第2シード・ケルバー(ドイツ)に2-6、2-6で敗れた。



新鋭ベテリッチを下して2度目優勝のA・ラドワンスカ

ベンチッチに快勝

女子の東レ・パンパシフィック(9月27日まで)・東京有明(単は第1シードの技巧派アグニシカ・ラドワンスカ(世界13位)・ポラド・26歳)が第8シード・ベンチッチ(15位)・スイス(18歳)を下して4年ぶり2度目の優勝。複は穂積絵莉・加藤未唯組が決勝進出を逃し、ムグルサ・スアレ・スナバロ組(スペイン)初V。

初戦で有力日本選手対決。世界80位・奈良くるみ対86位・土居美咲は奈良の7-6、6-2。奈良は2回戦で第4シ

東レ ラドワンスカ 4年ぶり2度目 V

＜女子単 準々決勝以降＞

①ウオズニアツキ	21	20	6-2	6-2
⑤ケルバー	20			
③ムグルサ	20	20	6-2	6-2
⑧ベンチッチ	20			
④プリスコバ	20	20	2-?	2-?
⑦A・ラドワンスカ	20			
チブルコバ	2?			
②イワビッチ	2?			

A・ラドワンスカ



女子のタシケン・ブ・オ・日比野(菜緒)宮市出身

日比野、土居がツアー単初優勝

身20歳、世界177位。11月写真真似がツアー初優勝。ルケセンブルク・オープンで土居美咲がノースイードから快進撃。世界23位、20位、55位を連破しツアー単初優勝。

穂積・加藤 決勝逃す
 複は1回戦で土居・奈良組が第1シードのツォンガ・ジョーンス(スウェーデン)を倒す。殊勲、穂積・加藤組(米)も8強入りしたが準々決勝で敗退。穂積・加藤組は準決勝で敗れた。決勝はスペインのムグルサ・スアレ・スナバロ組が台湾の詹(せん)・詹組を下した。

◆ラドワンスカ「この大会に2度勝てるなんて。(5戦完勝に)スコアでは判らない厳しい大会だった。再び東京が特別な場所になった」
 ◆2回戦負け・奈良＝「いいプレーはしたが相手手が強かった。第2セット序盤は反応よく足も動いた。世界30位台からランクは落ちたが、テニス自体が悪くなったとは思っていない」

日本WG残留

男子の国別対抗戦、デ杯ワールドグループ(WG)入れ替り戦の日本・ヨーロッパ(9月20日まで)・ペレイラで日本は3勝2敗で逆転勝ち。WG残留を決めた。

初日の単打で世界124位・ダニエルが59位・ヒラドにフルセットで惜敗。6位の錦織が193位・ラファジヤとの接戦を3-10で勝ち、1勝1敗。2日目の複は内山・西岡組が逆転負け。1勝2敗の瀬戸際。最終日、錦織がヒラドとのエース対決を3-10の快勝。ダニエルが第1セットをタイブレークで取った後、6-3、6-2、逆転3勝2敗。世界16強残留を決めた。来3月、英と1回戦。今年の決勝は英・ベルギーで11月決勝。

デ杯 最終日連勝 ヨーロッパを逆転



世界16強残留を決め喜ぶ日本チーム

テ杯・日本チーム
錦織 圭(日清食品)
西岡 良仁(日清食品)
ダニエル太郎(全イブ)
内山 靖崇(北日本物産)

土居・奈良組が準V

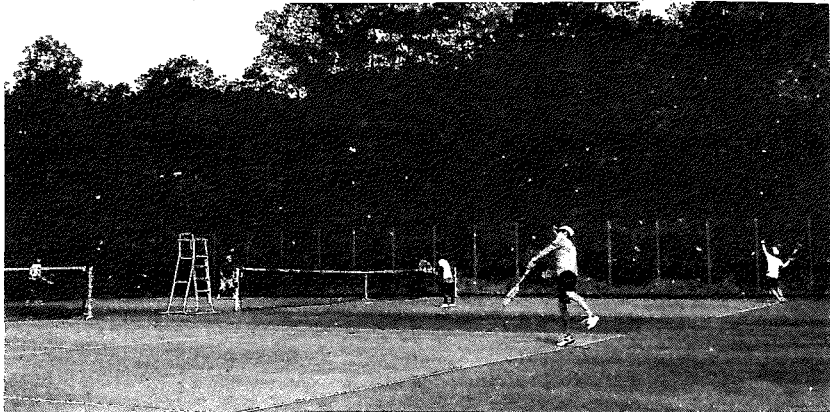
ジャポン女子OP

単はウィックマイヤー・ジャポン女子オープン(東京有明)9月20日まで。単決勝は世界86位・ウィックマイヤー(ベルギー)が84位・リネット(ポーランド)に4-6、6-1、3-6の逆転で初優勝。5シードぶりのツァー4勝目。賞金500万円を獲得。複の土居美咲・奈良くるみ組は決勝で台湾ペアに敗れ準優勝。



緒、尾崎里紗らが初戦突破したが2回戦で全員敗れた。複決勝で全米8強の台湾ペアに敗れた土居(奈良)組

複は伊達・ガイトンペア組や青山修子・二宮真琴組が1回戦敗退。土居・奈良組が準々決勝で中国ペアに競り勝って4強入り。準決勝は莊(台湾)・梁(中国組)に6-3、6-3で快勝。このペアではツァー初の決勝進出だったが、全米8強・詹組に完敗。第1シード・詹(せん)晴晴・詹詠然組(台湾、全米8強)との決勝は1-6、2-6。第1セット第3ゲームから9ゲーム連続で取られ完敗。打開策が見つからなかったと白旗。



森林練習会 25人楽しく テニス三昧 体育の日

10月12日(月・体育の日)は「秋の森林練習会」。延べ25人が午前9時からハードコート3個面で秋の一日テニス三昧(写真はサーブを放つ柴田氏。奥は高木・石川・田中・福岡戦)。

秋季大会に備えてゲームに汗を流す人、もっぱら練習に励む人、熱心にレッスンを受ける人といろいろ。午後からの参加者もあり、後半はゲーム中心。秋の日はつるべ落とし。午後5時散会。



ナイター教室 予定通り終了 21人に修了証

イターテニス教室Ⅱ写真Ⅱは天候に恵まれ8月29日終了した。毎回午後6時から3時間、3クラスにわかれて基礎から実戦まで腕を磨いた。最終日はダブルスクリーンを行い、練習の成果を試した。受講者21人に特製修了証を手渡して閉講。

全米クイズ3Q

Q1 全米でウィリアムズ姉妹が7度目対決。対戦成績はどうか?
Q2 全米予選を突破した日本選手は誰?
Q3 ジョコビッチは誰の誕生日が早い?
A1 28歳5月生まれ
A2 28歳5月生まれ
A3 28歳5月生まれ

錦織らチーム戦 プレミアリーグ

男女混合チーム対抗戦の国際イベント「インターナショナル・プレミアリーグ(ITPL)」の日本ラウンドが12月2日から4日まで神戸ワールド記念ホールで開催される。日本では初開催。

チームジャパン・ウォリアーズのメンバーは錦織圭、奈良くるみ、シヤラポワらで構成。12月にフィリピン、インドなど5か国を転戦する。

ITPLは昨年新設され、今回は5チームが参戦。男子のジョコビッチ、フェデラーらも参加する。

若ドラ、来季こそ

今季も不振のドラ。山本昌、写真、谷繁、和田、小笠原らが現役引退。彼らをしのぐ成長が期待される。

会報「STK」

協会業務部発行。創刊号は1975年(昭和50年)9月6日付。98年4月から定期刊行。原則隔月発行。第1号(10号)は梶田俊幸(元理事、2000号以降は理事・近藤修夫が制作担当。会員に郵送)。

走ろまあ! 瀬戸駅伝

STKランナー募っています。12月の「瀬戸駅伝」、協会は冬の鍛錬と協会PR(今年も男子2部1区)3・4区、2区118区、3区4・6区、4区3・6区の4区間に出場予定。昨年の超1時間の無念を晴らし、協会記録更新をめざすが、まずは「STK」着けて笑顔で走れ! 足に自信ない方も出場募っています。

あつぽん

「戦争法」成立。戦争は常に「自衛の名」で始まり、始まったら止まらない。大親分・米国の腰巾着はもう「免」名言いさとなつても戦わない! 一は寅さんの山田洋次監督。戦争法廃止へ1票の新たな戦い。日本ラックビー快拳、連統ノベル賞! 明るい話題の中、VW不正や傾きマシソン名張毒お酒の奥西死刑囚獄死。

○秋季大会男子、小嶋・伊藤組初出場。V。女子は柴山・中野のチークスが奪還。100歳ダブルスも初出場の山口・殿組。新しい顔が増えきた。「女子ビギナー」大会、懸命に声かけて9ペア集めた。

○錦織マイイチ。デ杯は16強残留。ジャパンOPも準決勝でひげ男・ペールにまた不覚。ファイナル8強に滑り込めるか? ○協会練習会終了。平均15人参加とますます盛況。よく練習した。練習すれば強くなるのは限らないが、練習せずに強くなることはない。また来春。(近藤)